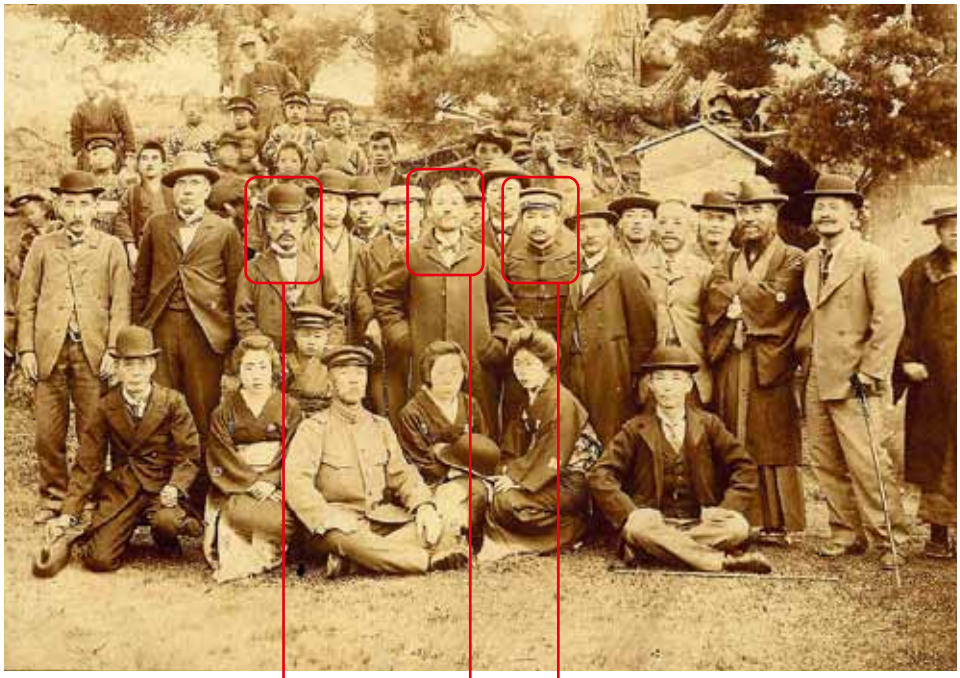
あなたと博物館

松本市立博物館ニュース　No.210　2017.5.1

松本市は市制施行110周年を迎えました！

初代松本市長の小里頼永（おりよりなが）、松本城の保存に尽力した小林有也（うなり）、後に陸軍大将となる福島安正など、錚々（そうそう）たる面々が城山公園での祝賀会に参加しました。



小里頼永　小林有也　福島安正

「明治40年5月1日松本市制祝賀会（城山公園）」
松本市立博物館所蔵

平成29年度の松本市立博物館（本館・分館）の企画展・特別展は、松本市市制施行110周年記念として開催します。

松本市市制施行110周年記念「松本市立博物館収蔵品展」

初代松本市長・小里頼永に関する資料を展示します。

会期：4月22日㊏～5月14日㊐　　場所：市立博物館1階ロビー

もくじ

誌上博物館 ◇ 連携展「松本の近代建築」……2
ガイドコーナー ◇ 展覧会……3
博物館TOPICS ◇ ひとの動き……4
ガイドコーナー ◇ はんてんぼく……4

美しく生きる。
健康寿命延伸都市・松本

連携展「松本の近代建築」

明治初期の学校建築の代表作である旧開智学校校舎と、明治期の木造裁判所庁舎の旧長野地方裁判所松本支部庁舎。旧開智学校校舎と歴史の里で連携展を開催し、全国的にも貴重な２つの建築を通して、松本の近代建築を紹介します。

旧開智学校校舎「大工棟梁の手がけた松本の洋風建築」 6月3日㊏～10月1日㊐

平成28年度の校舎創建140周年特別展「開智学校の魅力」の続編です。昨年は、旧開智学校校舎を手がけた大工棟梁、立石清重（たていしせいじゅう）が、生涯にわたり多くの建物を請け負ったことを紹介しました。今回の展示では、最新の研究成果をもとに、立石の業績をより深く紹介します。

旧開智学校の調査に多大な功績を残した建築史家の村松貞次郎（むらまつていじろう）（1924～1997）は、「建築はもっとも雄弁に時代を語る存在である」と言ったそうです。立石をはじめとした近世以来の大工棟梁が新しい時代と向かい合い、試行錯誤を重ねて生み出した擬洋風建築は、まさに文明開化に浮かれた当時の様子を映す鏡といえるでしょう。時代が下るにつれて、立石の建築が擬洋風から、より西洋建築に近い形へと変化をしていくことも、日本が欧米への理解を深めていく時代の流れに沿っています。時代の要請を受け、大工棟梁たちが作り上げた明治前期の擬洋風・洋風建築は、当時の時代性を強く感じさせてくれます。近代前期の松本の洋風建築を概観し、当時の松本の雰囲気にも思いを馳せてみませんか。

松本城を背景に、漆喰系擬洋風校舎と下見板張校舎が並ぶ松本中学校

ほかにも、最近明らかになった旧開智学校校舎建築の工程に関する研究成果も紹介しますので、ぜひご覧ください。

（旧開智学校校舎／遠藤正教）

歴史の里「市民が守った文化財～旧長野地方裁判所松本支部庁舎のあゆみ～」 6月3日㊏～10月1日㊐

旧長野地方裁判所松本支部庁舎は、明治41年（1908）に竣工した木造平屋建（だて）の裁判所庁舎です。ベランダや塔屋を設けた擬洋風建築の旧開智学校と比べると、全体的に和風な意匠が目を引き、一見すると江戸時代の御殿のような印象を受けます。しかし、左右対称で正面と両翼が張り出した外観や、屋根にドーマウィンド（小窓）をのせた意匠など、洋風の要素も多くみられます。こうした建築は「近代和風建築」と呼ばれ、日本の伝統的な建築技術に明治以降に入ってきた洋風様式を組み合わせた建築、いわば洋風の影響をうけて進化した新しい和風建築として、いま注目されています。全国各地で明治後半から昭和初期にかけて建てられた近代和風建築ですが、戦後の開発によって多くが破壊されました。

旧長野地方裁判所松本支部庁舎は、昭和53年（1978）に取り壊しの危機にあいましたが、貴重な歴史的建造物を後世に残そうという市民の保存活動によって、現在地に移築保存されました。まさに市民が守った文化財です。保存運動から約40年が経過した現在、この建物の建築的価値が見直されようとしています。

明治41年竣工直前

本展では、旧長野地方裁判所松本支部庁舎の建築的価値とそれを守った市民の活動を紹介するとともに、近代和風建築の魅力をあますことなくご紹介します。

（歴史の里／千賀康孝）

工芸の五月参加企画・日本民藝協会全国大会 松本2017開催記念展

松本では戦後、柳宗悦の唱えた「民藝運動」に共感した人たちによって、木工・染織をはじめ、活発な工芸品製作が行われてきました。こうした工芸品との結びつきをより発展させるために、毎年５月を「工芸月間」と位置づけ、松本を中心に美術館、博物館、クラフトフェアなどの70の会場でさまざまな工芸の催しが開催されています。また、今年は、５月27日（土）・28日（日）に日本民藝協会全国大会が開催されることを記念して、博物館では、松本の民藝をテーマに３館で展覧会を開催します。

松本市立博物館

「ふるさとの民芸展」

会期：5月20日㊏～6月25日㊐

丸山太郎　絵手紙　伊万里赤絵皿の図

松本市立博物館が所蔵する松本ゆかりの工芸品や、丸山太郎や森泉音三郎など松本の民芸運動を担った作家たちの作品を展示し、“民芸のまち松本”の魅力を紹介します。

松本民芸館

「美しいものが美しい　丸山太郎のまなざし」

会期：4月25日㊋～7月23日㊐

※5月29日㊊は臨時開館します

唐草文大徳利　美濃焼　岐阜県

丸山太郎が松本民芸館を創館して今年で55年を迎えます。民芸館の収蔵資料の中から、丸山太郎が創館当時に展示していた資料を中心に紹介し、あらためて民芸に生きた太郎の美へのまなざしをご覧いただきます。

はかり資料館

「中町と民芸」

会期：4月25日㊋～5月31日㊌

DISTAFF（紡具）

中町は民芸と深い結びつきがあります。卵殻・螺鈿細工作家の丸山太郎、染色工芸家の三代澤本寿（もとじゅ）の作品を紹介します。また、松本の伝統工芸品「お神酒の口」も展示します。

時の記念日企画展

「時計博物館 収蔵品展 2017」

時計博物館

会期：5月20日㊏～6月18日㊐

６月10日の「時の記念日」にちなみ、明治の改暦から時の記念日制定までの歴史を振り返るとともに、平成28年度に寄贈された様々な古時計を公開展示します。

「郷土の刀剣展」

松本市立博物館

会期：4月29日㊏～6月4日㊐

松本まるごと博物館友の会「松本の郷土刀研究部会」の協力を得ながら、松本市立博物館が所蔵する刀剣・武具を展示します。

ひとの動き

4月1日付で、次のように職員の転入・転出等がありました。（　）内は所属。

転入・新規採用　よろしくお願いします。

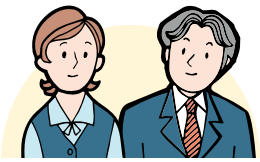
館　　長　木下　　守（文化財課→博物館）
課長補佐　中原　和彦（環境業務課→博物館）
課長補佐　岡村　保良（住宅課→博物館）
係　　長　土屋まつえ（納税課→博物館）
主　　査　竹内　祥泰（文化財課→時計博物館）
主　　事　石原　花梨（こども福祉課→旧制高等学校記念館）
嘱　　託　横山　泰基（寿地区地域づくりセンター→考古博物館）
嘱　　託　岩岡　秀行（山と自然博物館）
嘱　　託　麻和　孝安（四賀化石館）
嘱　　託　遠山　順子（旧開智学校）

退職・転出　お世話になりました。

館　　長　窪田　雅之（博物館→退職（博物館嘱託））
課長補佐　長澤　卓彦（博物館→中山地区地域づくりセンター）
主　　事　山下　太一（時計博物館→観光温泉課）
主　　事　麻生　沙絵（旧制高等学校記念館→美術館）
嘱　　託　上條　和也（考古博物館→退職）
嘱　　託　小林　弘美（博物館→退職）
嘱　　託　宮下　智昭（博物館→環境業務課）
嘱　　託　花村　圭介（博物館→退職）
嘱　　託　松本　和子（旧開智学校→退職）
嘱　　託　吉田　輝子（旧開智学校→退職）
嘱　　託　栗木　文子（松本民芸館→退職）

課内異動　改めてお願いします。

主　　査　赤羽　裕幸（考古博物館→博物館）
主　　査　大島　　浩（馬場家住宅→考古博物館）
主　　査　澤柳　秀利（山と自然博物館→馬場家住宅）
主　　事　高山　直樹（窪田空穂記念館→博物館）
主　　事　小暮　洋介（博物館→窪田空穂記念館）
嘱　　託　永井三香子（博物館→松本民芸館）
嘱　　託　加藤　史絵（馬場家住宅→旧開智学校）



ガイドコーナー　はんてんぼく

考古博物館から　☎0263-86-4710

弓矢づくり講座

竹で弓矢を作り屋外で飛ばします。君が作った弓矢で狩りをしよう！

日　　時　5月13日(土)･27日(土)･6月10日(土)
いずれも午前10時～正午
3日とも同じ内容で実施します。申込み時に参加希望日をお伝えください。
会　　場　考古博物館で作製し、隣の古代公園で飛ばします。
料　　金　300円
対　　象　小学生以上(小学校低学年は保護者の付添要)
定　　員　各20人
申込み　電話で考古博物館へ

馬場家住宅から　☎0263-85-5070

はた織り体験講座

①裂織(さきおり)体験教室
②高機(たかはた)入門教室（全6回）

日　　時　①5月20日(土)
午前9時30分～午前11時30分
②5月10日(水)、6月14日(水)、7月12日(水)、8月9日(水)、9月13日(水)、10月11日(水)
いずれも午前9時30分～午後3時30分
会　　場　馬場家住宅南門長屋
料　　金　①1,000円、②各回1,000円
対　　象　①小学校高学年以上
②将来、高機で織物を目指したい人。6回続けて参加可能な方(経験者)
定　　員　各４人
指　　導　染織の会
申込み　電話で馬場家住宅へ

お茶席の会

日　　時　5月21日(日)午前10時～正午
6月25日(日)午前10時～正午
会　　場　馬場家住宅主屋
料　　金　通常観覧料(大人300円、中学生以下無料)
担　　当　松風の会/表千家
問合せ　馬場家住宅へ

山と自然博物館から　☎0263-38-0012

野鳥観察会

アルプス公園で見られる野鳥の観察会です。春の野鳥の鳴き声や姿を観察することで、身近な自然にふれてみませんか。

日　　時　5月20日(土)午前9時～11時
会　　場　アルプス公園(集合　山と自然博物館)
料　　金　大人300円、中学生以下無料
定　　員　15人
申込み　電話で山と自然博物館へ

旧制高等学校記念館から　☎0263-35-6226

あがた美術会作品展

旧制松本高等学校卒業生による美術作品展です。個性光る多彩な作品をお楽しみください。

会　　期　5月20日(土)～6月25日(日)
会　　場　旧制高等学校記念館1階ギャラリー
料　　金　無料(常設展は通常観覧料)
問合せ　旧制高等学校記念館へ

歴史の里から　☎0263-47-4515

①はた織り体験
②草木染め体験
③みすず細工体験

日　　時　①5月24日(水)
午前10時～正午、午後1時～3時
②5月28日(日)午後1時～4時
③6月17日(土)午前9時30分～正午
会　　場　歴史の里
料　　金　①③1,000円、②2,000円
対　　象　大人
定　　員　①午前、午後とも各5人、②③各10人
申込み　電話で歴史の里へ

親子はた織り体験

日　　時　6月24日(土)
午前10時～正午、午後1時～3時
会　　場　歴史の里
料　　金　1,000円
対　　象　小学生以上の親子
定　　員　午前、午後とも各5組
申込み　電話で歴史の里へ

あとがき

明治 40 年の松本市市制施行から 110 年。明治時代もずいぶん昔になったなあと感じます。来年の平成 30 年には「明治 150 年」を迎えるそうです。近代化を歩みはじめ国の基本的な形を築き上げていった明治時代。これからは明治時代に注目が集まりそうです。　(Y.S)

あなたと博物館 No.210
発行年月日/平成29年5月1日
編集・発行/松本市立博物館
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133
URL：http://www.matsu-haku.com
e-mail：mcmuse@city.matsumoto.lg.jp
印刷 川越印刷株式会社